

## 環境に優しい白アリ防除法は！

前号で紹介しましたが、9月10日、鹿児島市鴨池公民館で「環境と自然住宅を考える会」の第3回勉強会が行われました。当日は、生活情報紙「えむえる」でも紹介されたこともありおよそ30人の市民の方が参加され、熱心に勉強されました。

まず、主催者の村田設計士の「住宅金融金庫は薬剤を使わなくても、工法や住まい方、使用材料を工夫することにより活用できる。薬剤をなるべく使わずにより自然な生活環境を考えましょう。」との挨拶で始まり、次に鹿児島県工業技術センター日高先生から、白アリの生態と被害の実態、防除方法の講演がありました。

- ① 白アリの食害は、0.07mg/日・匹であるが、一つの巣に数万匹いることを考えると大きな被害となる。
- ② ヤマト白アリは頭が大きく黒っぽい色をして、床下廻りに生息する。水分を必要とし、4～6月頃の屋間に飛来する。
- ③ イエ白アリは頭が小さく白または茶色っぽい色をして、蟻道を造りながら屋根裏まで上っていく。6～7月頃の夕方に飛来する。
- ④ どちらの白アリも飛んできて一回降りると二度と飛ぶことは出来ないの、そこに餌が無ければ2、3日で死に絶えてしまう。
- ⑤ 白アリ防除に化学薬品をなるべく使わない方法(樹脂、シート、ペイント、発泡等)と薬剤を一切使わない方法(床下環境改善、物理的、生物学的)があるが、地域や風土によりその効果はさまざまである。

次に、白アリ駆除業者さんからセントリコン・システムという新しい白アリの防除方法が紹介されました。これは ①白アリの存在を調べる。 ②白アリを確認したら、薬剤の入った餌を設置し白アリに食べさせて、数ヶ月で巣全体を死滅させる。 ③新たな被害を防ぐために白アリの存在の調査を継続する。 というもので、今のところは従来の薬剤処理より高くつくようですが、環境への影響が少なく、継続性があることがメリットです。アメリカでは全体の35%がこの方法になってきたそうです。

最後に、質疑が行われ活発で有意義な勉強会でした。

### [情報]

\* 「かごしま住まいと建築展」が開催されます。

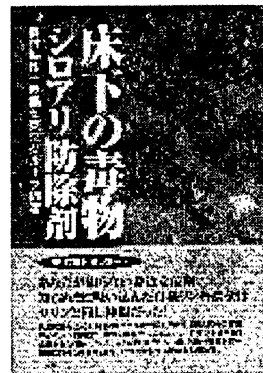
日時 10月27～29日午前10時～午後5時

場所 鹿児島県歴史資料センター黎明館

\* 「住宅の品質確保の促進等に関する法律」の講習会が行われます。

日時 10月10日(火)午前10時～午後5時

場所 伊集院中央公民館



《定休日》 10月は1, 8, 9, 15, 21, 22, 28, 29日になります。

11月は3, 4, 5, 12, 18, 19, 23, 26日になります。

御協力宜しくお願ひします。

(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)